

意見書 14年10月 協議員 米津鐵雄

平成14年9月27日(金)23:00より放映のNHK3チャンネルの金曜フォーラム(名古屋放送局制作)で『対話型の公共事業』をテーマにパネル・ディスカッションがあった。

討論の間に諸外国の例などが入り、勉強になった。

ロンドン……都心から25kmの幅広い緑地帯の真ん中に「M25」環状線を作ったので用地費はなし、工事費だけで簡単に完成した。

「M25」の完成は都市機能に大きな貢献をしている。

オランダ……ハウテン市の例

環状線から都心に入る自動車道路は行き止まりになっていて、町を通り抜けることが出来ない、つまり、通過交通は『0』である。市内交通は自転車全盛である。

フランス……『ピアンコ(大臣)通達』があって市民対話型を進めながら3つの環状線を作っている。

A36号線は86%が完成している。A86号線は150軒が立ち退きの予定である。構造は掘割り蓋掛け式であるが今、市民と国は裁判の最中である。

名古屋……東海環状道路(愛知・岐阜・三重の3県に跨がる)が進行中である。工事に入る前に豊田市に『マグロード館』を作ってPRに努めている。

このシンポジウムは何でもかんでも道路を造るためのPRでなく、『対話型の公共事業』をテーマにしている。

参考のため、私ももう一度見たい。見てない協議員のためにも出来ればNHKから貸出してもらい、協議会の席で見たいと思う。